

# 「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな身体」の育成

子どもたちの知識・技能、思考力・判断力・表現力等の「確かな学力」を育むため、一人ひとりの学習内容の理解と定着を図る取組を推進します。また、「豊かな心」を育むため、道徳教育の推進体制の充実を図り、子どもたちの道徳性を養うとともに、子どもたちが読書経験や本の楽しさを伝え合う取組等をとおして、読書習慣の定着を図ります。さらに、「健やかな身体」を育むため、遊びやスポーツの機会の拡充をとおして、運動に親しむ習慣の定着と体力の向上に取り組みます。あわせて、外国人児童生徒が社会的に自立する力を身につけられるよう、日本語指導や進路選択等の支援を行います。

【予算額 合計 1,633,838千円】  
 学力向上推進PT(224-2831) 教職員課(224-2958) 小中学校教育課(224-2963)  
 社会教育・文化財保護課(224-3322) 保健体育課(224-2973)  
 特別支援教育課(224-2961) 研修企画・支援課(226-3516) 高校教育課(224-3002)

## 「確かな学力」の育成

### （一部新）学力向上推進事業 【予算額：31,377千円】

全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェック、ワークシート等の年間をとおした計画的な活用など、PDCAサイクルによる早期からの授業改善等により、子ども一人ひとりの「確かな学力」を育み、学習意欲を向上

### 少人数教育推進事業 【予算額：1,349,046千円】

- ・小学校1年生の30人学級(下限25人)(定数25人)
- ・小学校2年生の30人学級(下限25人)と36人以上学級の解消(定数80人)
- ・中学校1年生の35人学級(下限25人)(定数55人、非常勤30人)
  - \* 実情に応じて2,3年生への振替可
- ・習熟度別指導やチーム・ティーチングなどの少人数指導のための教員配置(定数44人、非常勤195人)
- ・これまでの少人数指導の取組をふまえ、効果的な少人数教育を推進



## 「豊かな心」の育成

### 道徳教育総合支援事業 【予算額：9,598千円】

学校へ道徳教育アドバイザーを派遣するなど、「考え、議論する道徳」の指導方法等の指導、助言

### 子どもと本をつなぐ環境整備促進事業 【予算額：758千円】

- ・「第四次三重県子ども読書活動推進計画(仮称)」に基づいた読書活動の推進
- ・ビブリオバトルの開催

## 「健やかな身体」の育成

### みえ子どもの元気アップ体力向上推進事業 【予算額：5,928千円】

- ・元気アップ研修会等による体育授業の充実
- ・武道等指導充実・資質向上支援事業による武道等授業の充実
- ・オリンピック・パラリンピアンによる講演、模範演技

### みえ子どもの元気アップ部活動充実事業 【予算額：26,953千円】

運動部活動指導員の配置(中学校38名、高等学校5名)  
 運動部活動サポーターの派遣(中学校5名、高等学校45名)

### 運動部活動支援事業 【予算額：153,808千円】

全国高等学校総合体育大会アーチェリー競技大会(松阪市で開催)、全国中学校体育大会三重大会への経費補助

## 外国人児童生徒教育の推進

### （一部新）多文化共生社会のための外国人児童生徒教育推進事業 【予算額：29,634千円】

- ・小中学校に翻訳等を行う外国人児童生徒巡回支援員3名を新たに派遣
- ・夜間中学等に関する調査研究

### 社会的自立をめざす外国人生徒支援事業 【予算額：11,117千円】

日本語指導が必要な外国人生徒を支援するため、県立高校拠点校における外国人生徒支援専門員の配置拡充(3名増員)

### 外国人生徒キャリアサポート事業 (未来へつなぐキャリア教育推進事業の一部) 【予算額：4,824千円】

- ・就職アドバイザーの配置
- ・国内での就職等に係るセミナーの実施

### 特別支援学校外国人児童生徒の学校生活充実事業 (早期からの一貫した教育支援体制整備事業の一部) 【予算額：2,679千円】

翻訳・通訳を行う外国人児童生徒支援員を配置

### SNSを活用した相談事業(外国人生徒対応分) (教育相談事業の一部) 【予算額：3,858千円】

外国人生徒が母国語で相談できるSNS相談を実施  
 ※「子どもSNS相談みえ」(11,799千円)の一部

## 幼児教育の推進

### （一部新）就学前教育の質向上事業 【予算額：4,258千円】

- ・幼児教育センターの設置
- ・センターに幼児教育スーパーバイザーを配置するとともに、幼児教育アドバイザーを市町へ派遣



自分のよさや可能性を認識し、夢と志を持って可能性へ挑戦！

# 未来を創造する力の育成

【予算額 合計 2,409,385千円】※R元年度2月補正含みベース

高校教育課(224-3002)、小中学校教育課(224-2963)、教育政策課(224-2951)

変化が激しく予測困難な社会にあっても、子どもたちが社会の一員として自覚と責任を持ち、主体的に行動できる力を育みます。英語教育や郷土教育を推進し、世界や地域で活躍できるグローバル人材の育成や、地域や企業と連携したキャリア教育を推進するとともに、ICT環境の整備などに取り組み、超スマート社会(Society5.0)に対応できる力を育みます。

## キャリア教育の充実

### 地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業

【予算額 24,222千円】

- ・実践パイロット校を指定し、高校生が地域の課題や産業等を題材にした新しいキャリア教育モデルを展開
- ・地域住民や職業人と関わりながら、実社会での実践活動に取り組むことをとおし、さまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働する力や、自己と社会の関わりを深く考える力など、これからの社会の変化に対応する力を育成
- ・学校と地域をつなぐコーディネーターを配置
- ・地域関係者、有識者等で構成する推進委員会を設置し、実践パイロット校の成果や課題を検証、改善



### 未来へつなぐキャリア教育推進事業(一部再掲)

【予算額 22,091千円】

- ・地域で活躍する職業人による出前授業
- ・地域の事業所と連携した課題解決型インターンシップ
- ・外部人材を活用した就職支援・職場定着支援
- ・外国人生徒へのキャリアサポート  
(就職アドバイザーの配置、国内での就職等にかかるセミナーの実施)

### 「挑戦・交流・進化」で紡ぐ職業教育推進事業

【予算額 27,221千円】

- ・先進的で卓越した取組に挑戦する学校への支援
- ・すべての県立農業高等学校(5校)でGAP教育を推進
- ・伊賀白鳳高等学校建築デザイン科における実習設備の整備

### 専攻科整備事業

【予算額 40,079千円】

四日市工業高校ものづくり創造専攻科における実習設備の整備

## 知識を活用して新たな価値を創りだす力の育成

### (新)学びのSTEAM化推進事業

【予算額 4,410千円】

- ・STEAM教育(文理融合の課題解決型学習)
- ・Edtech(Education + Technology)の活用による個別最適型学習
- ・三重STEAM教育フォーラム(仮称)を開催

↓  
Society5.0の時代を生き抜く人材を育成

<STEAM教育>

Science、Technology、Engineering、Arts、Mathematics等の学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育

### (一部新)情報教育充実支援事業

【予算額 992,194千円】

(2,268,973千円 ※R元年度2月補正含みベース)

EdTechを活用できる基盤として、県立学校に無線LAN環境と電子黒板等の大型提示装置、学習用パソコンを整備し、子どもたちが他者と協働して課題を解決する力等を育むプロジェクト型学習や、生徒一人ひとりの関心・理解度に応じた教科学習(個別最適化学習)等を推進



## グローバル教育の推進

### 世界へはばたく高校生育成支援事業

【予算額 18,601千円】

- ・レベル別英語ディベートセミナーの実施
- ・高校生の留学支援
- ・海外研修旅行の実施
- ・三重県高等学校科学オリンピック大会の開催



### (一部新)英語教育推進事業

【予算額 2,391千円】

- ・中学校のモデル地域を指定し、多様な音声や教材が利用できる英語教材作成支援システムを導入
- ・モデル校を指定した小学校英語の効果的な指導方法等の実践研究
- ・郷土の魅力を英語で発信するワン・ペーパー・コンテストの開催

### (一部新)課題解決型学習(PBL)を通じた新しい郷土教育推進事業

【予算額 397千円】

中学生が地域に関わる課題について解決策を考え、提案する取組を支援し、その成果を他市町の生徒と交流

## 主体的に社会を形成する力の育成

### 実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究事業 (高等学校学力向上推進事業の一部)

【予算額 1,000千円】

主権者として社会参画意識を醸成するため、実践研究校を指定し、出前授業や効果的な学習プログラムを開発

# 特別支援教育の推進

【予算額 合計 65,165千円】

特別支援教育課（224-2961）、研修推進課（226-3572）

特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの学びを支えるため、「パーソナルファイル」を活用した支援情報の確実な引き継ぎを進めます。また、子どもたちが地域で豊かに自分らしい生活ができるよう、発達段階に応じた組織的なキャリア教育を進めるとともに、障がいのある子どもたちと障がいのない子どもたちが授業で共に学ぶことや行事等の交流活動を進めます。

## 特別支援教育の推進

◇早期からの一貫した教育支援体制整備事業（一部再掲） [予算額 23,573千円] ◇特別支援学校メディカル・サポート事業 [予算額 5,690千円]

### ○早期からの一貫した教育支援体制を整備

- ・「パーソナルファイル」の活用促進
- ・発達障がい支援員3名による高等学校への巡回相談
- ・支援情報の円滑な引き継ぎ
- ・通級指導担当教員等の専門性の向上
- ・特別支援学校のセンター的機能による支援
- ・市町教育委員会と連携した就学支援
- ・高等学校段階における入院生徒に対する学習保障の仕組みの研究
- ・特別支援学校に在籍する外国人児童生徒等への支援（翻訳・通訳を行う外国人児童生徒支援員を配置）
- ・高等学校における通級指導の充実と拡充
- ・交流及び共同学習の充実



### ○医療的ケアを安全に実施するための体制を整備

- ・実施校：特別支援学校9校
- ・常勤講師（看護師免許有）および教員が連携した医療的ケアの実施
- ・医療的ケアに係る知識・技能を習得するための基本研修および実地研修の実施
- ・指導医等による巡回相談および指導

### ◇特別支援教育に係る教職員研修

（教職員研修事業の一部） [予算額 180千円]

### ○特別支援教育に係る教職員の専門性の向上

- ・経験年数や職種に応じて、特別な支援を必要とする児童生徒の障がいの特性を理解し、その支援方法を学ぶ研修の実施
- ・特別支援学級等の新担当教員が特別支援学級経営や障がいの特性に応じた適切な支援を学ぶ研修の実施

◇（新）特別支援学校学習環境等基盤整備事業 [予算額 29,115千円]

### ○特別支援学校ICT端末の整備

- ・特別支援学校に在籍する小・中学部の児童生徒が使用する学習用パソコン等の端末を整備

## 進路希望の実現

◇特別支援学校就労推進事業 [予算額 6,607千円]

### ○外部人材を活用した支援を実施

- ・生徒の適性を把握し、適した職種・業務と支援方法を企業に提案する形の職場開拓（キャリア教育サポーター4名を配置）

### ○特別支援学校版キャリア教育プログラムに基づく取組の推進

- ・職業適性アセスメントの活用を促進
- ・技能講習、技能検定を実施（清掃、看護・介助補助業務）



# 安全で安心な学びの場づくり

【予算額 合計 2,075,338千円】

生徒指導課(224-2332)、研修企画・支援課(226-3516)、教育総務課(224-3301)、学校経営・施設課(224-2955)

「三重県いじめ防止条例」に基づき、いじめがなくなることをめざして社会総がかりで取り組むとともに、学校や家庭、地域、関係機関が連携して、不登校の状況にある子どもたちへの支援や通学路等の安全確保、インターネットトラブルの防止に取り組みます。また、トイレの洋式化など設備面での機能向上も含めた県立学校における施設の計画的な老朽化対策に取り組むとともに、災害時の学校を支援する体制の整備や防災教育を進め、子どもたちが安心して学ぶことができる環境づくりを進めます。

## いじめや暴力のない学校づくり

### いじめ対策推進事業 【予算額 5,910千円】

- 専門家との連携による支援
  - ・臨床心理士が、いじめを受けて苦しんでいる児童生徒への直接的な支援や、いじめにより欠席しだした児童生徒に対する家庭訪問等の実施
  - ・社会福祉士や精神保健福祉士が、いじめの被害・加害児童生徒を取り巻く環境といじめの関係性を検証した上で、関係機関と連携した支援
  - ・弁護士によるいじめ予防授業や、学校だけでは解決が困難な事案への支援
- 主体的な活動の推進
  - ・地区別いじめ防止サミットを開催し、児童生徒と保護者、教職員、三重県いじめ防止支援サポーター等が意見交換を行い、いじめの防止に向けた主体的な活動を推進

### スクールカウンセラー等活用事業 【予算額 279,103千円】

- ・スクールカウンセラー（臨床心理士等）を配置  
スクールカウンセラーの配置校  
小中学校 153 全中学校区  
高等学校 56校
- ・スクールソーシャルワーカー（社会福祉士等） 13名を配置  
社会福祉等の専門的な知識・技術による支援  
福祉機関等の関係機関とのネットワークを活用



### SNSを活用した相談事業(いじめ等対応分)

(教育相談事業の一部)

【予算額 7,941千円】

- ・いじめ等の早期発見、早期対応を図るためのSNS相談を実施  
※「子どもSNS相談みえ」(11,799千円)の一部

## 不登校児童生徒への支援

### (一部新)不登校対策事業 【予算額 7,239千円】

- ・不登校児童生徒一人ひとりの状況に応じた学習支援等に係る支援方法の研究
- ・不登校支援アドバイザーを委嘱し、教育支援センターの指導員等に対する指導・助言
- ・臨床心理士や精神保健福祉士等の専門家による訪問型支援の実施
- ・民間施設(フリースクール等)と連携し、不登校児童生徒一人ひとりに応じた多様な学びを支援

## 子どもたちの安全・安心の確保

### (新)子どもたちのインターネットトラブル防止事業

※県民参加型予算事業

【予算額 10,000千円】

- ・SNSにおけるトラブル等に係る情報を投稿できるアプリの作成  
大学生がSNSパトロールを実施し、問題が疑われる案件を発見した場合、このアプリを利用し、県教育委員会へ連絡
- ・県内大学生による「インターネットの適正利用促進講座」の実施
- ・大学生と高校生がネット利用における経験をもとにした意見交換会を実施  
その結果やネットトラブルに関する相談窓口等を記載したリーフレットを作成し、子どもたちや保護者に発信



### (一部新)学校安全推進事業 【予算額 3,035千円】

スクールガード・リーダーを核とした、地域ぐるみの学校安全体制づくりの推進

## 防災教育・防災対策の推進

### 学校防災推進事業 【予算額 13,332千円】

- ・防災ノートを活用した学習 ・体験型防災学習等の支援
- ・東日本大震災の被災地での中高生のボランティア活動や交流学习
- ・学校防災リーダー等教職員研修の実施



### (一部新)災害時学校支援事業 【予算額 2,264千円】

- ・災害時の学校運営に関する専門的知識や実践的な対応能力を備える教職員を育成(令和2年度:40名育成予定)



### 校舎その他建築費 【予算額 1,746,514千円】

- ・県立学校施設の長寿命化計画に基づく長寿命化改修を実施  
※トイレ洋式化改修工事は2校で実施予定(設計は10校)
- ・空調設備が未整備の普通教室の空調設備整備工事を実施(9校)



# 地域との協働と信頼される学校づくり

【予算額 合計 221,316千円】  
小中学校教育課(224-2963) 教職員課(224-2959) 研修推進課(226-3572) 教育政策課(224-2951) 社会教育・文化財保護課(224-3322)

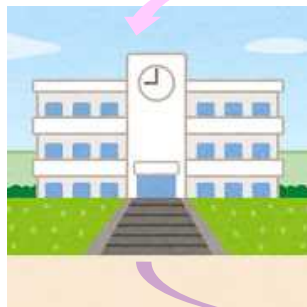
学校・家庭・地域が一体となった教育活動を進めるため、コミュニティ・スクールの仕組みを導入する市町や学校の拡充に取り組むとともに、県立高校の特色化・魅力化を進めます。また、教職員の資質向上を図るため、計画的な研修を実施するとともに、働き方改革を推進し効果的な教育活動ができるよう、専門スタッフや外部人材等の配置を進めます。

さらに、地域の中で子どもたちを健やかに育む環境づくりを進めるとともに、文化財を将来にわたって守り伝えるための取組を推進します。

## ◇地域とともにある学校づくり

### 地域と学校の連携・協働体制構築事業 【予算額 7,862千円】

- ・「地域未来塾」などの学習支援をはじめとする地域学校協働活動に係る経費の補助
- ・学校と地域住民等をつなぐコーディネーターの育成のための研修会の実施
- ・地域とともにある学校づくりサポーターを市町や学校に派遣し、コミュニティ・スクールの拡充や地域学校協働活動の充実を図るための指導・助言の実施



## ◇社会教育の推進と地域の教育力の向上

### 社会教育推進体制整備事業 【予算額 1,524千円】

- ・市町教育関係者を対象とした研修会等を実施
- ・公民館等の社会教育施設において、地域課題の解決に資する学習機会を提供するとともに、地域におけるコーディネート機能を向上



## ◇教職員の資質向上と学校における働き方改革の推進

### 教職員研修事業(一部再掲) 【予算額 29,889千円】

「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」等をふまえ、ライフステージおよび多様な教育課題に対応した研修を計画的に実施

### (一部新)学校における働き方改革推進事業

【予算額 60,118千円】

教員の業務を支援するためスクール・サポート・スタッフを配置  
小中学校等100名(85名増員) 県立学校7名(新規)

<< 専門的な知識や経験を有する外部人材の活用(令和2年度) >>(再掲)

スクールカウンセラー  
小中学校 全153中学校区  
高等学校 56校

スクールソーシャル  
ワーカー  
13名

部活動指導員(中学校)  
50名配置  
※うち、新たに文化部  
にも12名を配置

## ◇学校の特色化・魅力化

### 地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業(再掲)

【予算額 24,222千円】

- ・実践パイロット校を指定し、高校生が地域の課題や産業等を題材にした新しいキャリア教育モデルを展開
- ・地域住民や職業人と関わりながら、実社会での実践活動に取り組むことをとおし、さまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働する力や、自己と社会の関わりを深く考える力など、これからの社会の変化に対応する力を育成

### 教育改革推進事業 【予算額 7,221千円】

教育改革推進会議等を開催し、高等学校の活性化および今後のあり方を検討

## ◇文化財の保存・継承・活用

### 世界遺産熊野参詣道保存管理費 【予算額 480千円】

- ・近隣県と連携した取組の実施
- ・新たな文化資産の情報収集を中心とする基礎的な調査
- ・講演会等の実施

### 地域文化財総合活性化事業 【予算額 90,000千円】

国・県指定等文化財の所有者等が行う修復等の保存事業を支援

